



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 大成ラミック株式会社

コード番号 4994 URL <http://www.lamick.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 義成

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長

(氏名) 中島 宏明

TEL 0480-97-0224

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,612	9.9	556	30.9	567	33.5	413	48.3
27年3月期第1四半期	5,105	—	424	—	424	—	278	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 449百万円 (56.2%) 27年3月期第1四半期 287百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	66.60	—
27年3月期第1四半期	44.91	—

(注)平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	24,022	13,976	58.2	2,251.30
27年3月期	23,985	13,756	57.4	2,215.91

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 13,976百万円 27年3月期 13,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	33.00	—	37.00	70.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	33.00	—	37.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,800	3.2	820	8.8	830	7.4	590	19.5	95.03
通期	21,100	2.9	1,340	11.4	1,360	7.9	940	13.7	151.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	6,300,000 株	27年3月期	6,300,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	91,812 株	27年3月期	91,812 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	6,208,188 株	27年3月期1Q	6,208,302 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調にあるものの、円安による物価上昇に伴い個人消費は依然として低迷しており、また、海外ではギリシャの財政不安や中国の成長鈍化等、国際金融市場への影響が懸念されることから、先行き不透明な状況にあります。

当軟包装資材業界におきましては、円安の長期化と原油価格の軟調の影響により競合他社との価格競争が激しく、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループのビジネスモデルである「フィルム・機械・オペレーション」を同時にサポートする体制のもと、販売面では新たな市場の開拓を推進する体制を整え、国内外の食品及び化粧品業界等に対し、積極的な営業活動に取り組んでまいりました。また、生産面では作業改善及び内製化の推進により原価低減に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は56億12百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は5億56百万円（同30.9%増）、経常利益は5億67百万円（同33.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億13百万円（同48.3%増）となりました。

[包装フィルム部門]

国内市場においては、例年より平均気温が高めであったことにより、今期前半にコンビニ向け夏物商品の受注が集中したことに加え、化粧品・健康食品関連商品を中心に好調に推移いたしました。また、海外市場においては、北米・韓国を中心とした食品関連商品の新規顧客の開拓等が順調に進みました。

その結果、包装フィルム部門の売上高は52億27百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

[包装機械部門]

国内市場においては、地方の展示会へ出展及び新規顧客の開拓等、積極的な営業活動に取り組むとともに、生産設備の促進税制等を背景に企業の設備投資に持ち直しの動きが見られることから堅調に推移いたしました。また、海外市場においては、韓国や東南アジア地域への展示会に出展し、販売領域の拡大に努めてまいりました。

その結果、包装機械部門の売上高は3億85百万円（前年同期比52.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ37百万円増加し、240億22百万円となりました。

このうち流動資産合計は、前連結会計年度末と比べ2億73百万円増加し、134億99百万円となりました。これは主に、現金及び預金が5億85百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が6億97百万円、仕掛品が1億60百万円増加したことによるものです。

固定資産合計は、前連結会計年度末と比べ2億35百万円減少し、105億23百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具（純額）が31百万円増加した一方で、退職給付に係る資産が1億20百万円、建物及び構築物（純額）が66百万円減少したことによるものです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末と比べ1億81百万円減少し、100億46百万円となりました。

このうち流動負債合計は、前連結会計年度末と比べ4億52百万円増加し、64億94百万円となりました。これは主に、賞与引当金が1億58百万円、未払法人税等が1億22百万円減少した一方で、買掛金が7億1百万円増加したことによるものです。

固定負債合計は、前連結会計年度末と比べ6億34百万円減少し、35億51百万円となりました。これは主に、固定負債のその他が2億13百万円増加した一方で、退職給付に係る負債が5億63百万円、長期借入金が2億52百万円減少したことによるものです。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ2億19百万円増加し、139億76百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億83百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成27年5月11日付「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」記載の第2四半期累計期間・通期予想を変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合等に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,560,553	4,974,555
受取手形及び売掛金	5,335,394	6,032,680
商品及び製品	1,416,800	1,427,409
仕掛品	464,359	625,320
原材料及び貯蔵品	163,716	207,411
その他	285,214	232,318
流動資産合計	13,226,038	13,499,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,994,583	3,928,561
機械装置及び運搬具(純額)	1,767,166	1,798,658
土地	3,459,282	3,459,282
その他(純額)	448,278	433,515
有形固定資産合計	9,669,309	9,620,017
無形固定資産	364,848	343,077
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	196,482	75,862
その他	539,111	495,034
貸倒引当金	△10,732	△10,882
投資その他の資産合計	724,862	560,015
固定資産合計	10,759,019	10,523,110
資産合計	23,985,058	24,022,805

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,249,050	3,950,210
1年内返済予定の長期借入金	1,011,696	1,011,696
未払法人税等	186,436	63,837
賞与引当金	329,720	170,941
役員賞与引当金	29,000	6,750
株主優待引当金	69,618	17,709
その他	1,166,450	1,273,594
流動負債合計	6,041,972	6,494,739
固定負債		
長期借入金	3,421,786	3,168,862
執行役員退職慰労引当金	5,325	5,550
役員退職慰労引当金	31,666	—
退職給付に係る負債	590,364	26,969
その他	137,118	350,145
固定負債合計	4,186,260	3,551,527
負債合計	10,228,232	10,046,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,408,600	2,408,600
資本剰余金	2,896,075	2,896,075
利益剰余金	8,519,836	8,703,654
自己株式	△209,886	△209,886
株主資本合計	13,614,625	13,798,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,692	105,745
為替換算調整勘定	22,971	26,474
退職給付に係る調整累計額	39,536	45,875
その他の包括利益累計額合計	142,200	178,095
純資産合計	13,756,825	13,976,538
負債純資産合計	23,985,058	24,022,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	5,105,553	5,612,831
売上原価	3,941,389	4,243,451
売上総利益	1,164,163	1,369,379
販売費及び一般管理費	739,266	813,347
営業利益	424,897	556,031
営業外収益		
受取利息	868	1,093
受取配当金	1,716	2,468
物品売却益	4,844	4,250
受取補償金	1,686	2,227
為替差益	—	4,503
雑収入	2,977	2,150
営業外収益合計	12,094	16,693
営業外費用		
支払利息	4,563	3,332
売上割引	465	381
支払補償費	1,800	1,252
為替差損	5,238	—
貸倒引当金繰入額	—	150
雑損失	62	228
営業外費用合計	12,130	5,345
経常利益	424,860	567,380
特別利益		
退職給付制度改定益	—	43,589
特別利益合計	—	43,589
特別損失		
固定資産除却損	10,341	336
リース解約損	506	—
特別損失合計	10,848	336
税金等調整前四半期純利益	414,012	610,634
法人税、住民税及び事業税	77,261	55,058
法人税等調整額	57,876	142,055
法人税等合計	135,138	197,113
四半期純利益	278,873	413,520
親会社株主に帰属する四半期純利益	278,873	413,520

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	278,873	413,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,095	26,053
為替換算調整勘定	△1,434	3,503
退職給付に係る調整額	126	6,338
その他の包括利益合計	8,788	35,895
四半期包括利益	287,662	449,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287,662	449,415
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、包装フィルム及び液体充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。